

つながる鎌倉エール事業  
令和7年度実施事業報告会 各取組の講評

■地域活性化コース

1 六国見山里山再生活動（北鎌倉湧水ネットワーク）

①評価できる点

- ✚ 多様な団体を巻き込んだ「分散型市民活動」を展開しており、その巻き込み力は非常に素晴らしい。

②課題点

- ✚ 活動が発展、拡大していく過程で生じると想定される新たな課題に対し、地域住民からの理解と協力を得られるよう、これまで以上に丁寧なアプローチを継続していくことが求められる。

③今後のアドバイス

- ✚ 六国見山を明るい里山として再生したことにより、今では撮影地として利用されるなど認知度が高まっている。今後はビジネス視点を持つ人材を運営に巻き込むことで、企業協賛などの安定的な収入源の確保を検討してはどうか。
- ✚ 活動を継続する中で若い世代の参加者数を増やすなど、世代交代にも耐える体制を築いていくことを期待したい。
- ✚ 里山再生活動のノウハウを次世代へ繋げていくための具体的な計画についても考えてほしい。

2 “孤立遠地を含めた” スマホの使い方サロン（The 和み Space Connected）

①評価できる点

- ✚ 参加者が「行きたい」と思える魅力ある居場所づくりを実践していることがよかった。
- ✚ 活動を通して、自治会町内会など地域で情報を回すためにはどうしたらいいかというところに気づけたことがよかった。

②課題点

- ✚ 情報の更新が早い分野であるため、冊子の更新作業に追われてしまわないかが課題として残る。
- ✚ 団体の5～10年後を見据え、サロン活動の定着を図るために、地域のつながりをつくることにも意識して取り組んでほしい。

③今後のアドバイス

- ✚ 情報の変更が早い分野であるため、ホームページでの資料公開や動画解説など、デジタルツールを併用することでサービスの充実を図ってほしい。